



2022年9月9日

報道機関 各位

東北大学附属図書館

**東北大学初の仙台駅近辺で買えるロゴマーク付き菓子
『吾輩は羊羹好きな猫である』発売**
「創立115周年・総合大学100周年」を記念し「白松がモナカ本舗」が製作
～夏目漱石も「ようかん」が好きだった！～

【発表のポイント】

- 『吾輩は羊羹好きな猫である』（ミニヨーカン4個入り）は2022年の「東北大学創立115周年・総合大学100周年」を記念して企画され、「白松がモナカ本舗」製作の東北大学ロゴマーク入り商品として、9月13日（火）から同社の一番町店・仙台エスパル店・Amazonで販売が開始されます（店舗は順次拡大予定）。
- 東北大学のお土産として、仙台駅近辺で購入できるお菓子の販売は初めてです。
- 「吾輩は猫である」をモチーフとした理由は、東北大学附属図書館に夏目漱石の旧蔵書が「漱石文庫」として保管されていることによります。
- 商品の売り上げの一部は東北大学附属図書館の特定基金に寄附され、「漱石文庫」の保護に充当されます。

【概要】

東北大学附属図書館では、2022年の「東北大学創立115周年・総合大学100周年」を記念し、同館が所蔵する夏目漱石の旧蔵書にちなんだ菓子「吾輩は羊羹好きな猫である」を企画しました。「白松がモナカ本舗」が製作と販売を行います。

商品には東北大学ロゴマークが付き、売り上げの一部は漱石の旧蔵書「漱石文庫」の保存のために同館に寄附されます。パッケージは今回の商品のために漱石の作品にちなんだ猫のさまざまな姿が描かれ、漱石と甘いもののエピソードも紹介されています。

■店頭販売開始日

- ・日時：2022年9月13日（火）15:15～15:40
- ・場所：白松がモナカ本舗 一番町店（青葉区一番町3丁目5-10）*藤崎向かい

【以下、商品パッケージ写真】



【問い合わせ先】

東北大学附属図書館

附属図書館総務課(担当:佐藤)

TEL: 022-795-5907

E-mail: hatsumi.sato.bl@tohoku.ac.jp

【詳細な説明】

東北大学附属図書館は、夏目漱石の旧蔵書約 3000 冊を「漱石文庫」として所蔵しています。これは、漱石の弟子であった小宮豊隆が図書館長を務めていた縁によります。



(画像:「漱石文庫」の一部)

作品『草枕』の中で漱石は「余はすべての菓子のうちでもっとも羊羹が好きだ。」と主人公に語らせています。また、鏡子夫人の『漱石の思い出』の中では、隠しておいた羊羹を探す漱石に、その様子を気の毒だと思った子供が「お父さん、ここにあったよ」と出してあげる様子などが描かれ、漱石の甘いもの好きのエピソードには事欠きません。

当館では、2005(平成 17)年の展示「江戸の食文化」の企画として、江戸時代のお菓子レシピを白松がモナカ本舗の協力を得て再現・販売した縁から、今回の「漱石文庫」にちなんだ菓子製作が実現しました。

今回の特徴は「東北大学ロゴマーク入り商品であること」、「キャンパス外の店舗で販売されること」の二つが特にあげられます。本学へは海外含め年間を通じて数多くの来学者がありますが、仙台駅近辺で購入できる大学のお土産というものはありませんでした。今回は価格も税込みで 800 円と学生が帰省の際にも気軽に買える値段設定とし、個包装にもロゴを入れることで家族や友人とも分け合える工夫をするなど、本学のお土産として活用されるための仕掛けにあふれています。さらに、Amazon でも販売することで、遠方からでも購入が容易となります。

当館としては、購入者層が広がることで、「漱石文庫」が本学に所蔵されていることが周知され、その保存と活用に理解が広がることを期待しています。

10月27日(木)～11月9日(水)は「読書週間」でもあり、漱石も羊羹を食べたことに思いを馳せながら『吾輩は羊羹好きな猫である』をお楽しみください。

【9月13日(火)に販売が開始される店舗】

・白松がモナカ本舗 一番町店・仙台エスパル店・Amazon(以降、順次拡大予定)